

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
臨床実習 1											
対象	1年次	開講期	通年	区分	必※	種別	実習+ 実技	時間数	45	単位	1
担当教員	本澤光則 有山敦士 小西裕司 後藤晃弘 青木伊之 宮本功三			実務 経験	有	職種	柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）				
授業概要											
介護施設、整形外科、大会救護などの医療現場等で臨床実習を行う。											
到達目標											
医療人として必要最低限な身なり・言動・所作を身につける。医療事故や医療過誤を防止するという観点から、接骨院内で起きたことについて把握をして逐一責任者に報告する習慣（ヒヤリハット報告）を身につけることで危機管理能力を獲得することを目標とする。											
授業方法											
主に患者に対する接遇、施術における留意事項や禁忌事項、付属接骨院での環境整備・美化、施術に用いる器具・手指等の消毒設備の熟知と準備などについて実習を行う。											
成績評価方法											
実習内容と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員ならびに付属接骨院へ来院した患者とのコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や実習態度（言動・身なり）などには厳しく対応する。臨床実習であるため原則として遅刻や欠席は認めない。実習に参加するだけでなく、社会人としてのマナーをわきまえて実習に参加することを求める。											
教科書教材											
教科書（柔道整復理論編一般社団法人全国柔道整復学校協会監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	柔道整復師の役割（施術・予防について）										
第2回	柔道整復師の業務（外傷・障害について）										
第3回	患者への接遇（身なり・言動）										

2022年度 日本工学院八王子専門学校

柔道整復科

臨床実習 1

第4回	医療事故防止と危機管理①（誤診・医療過誤の回避）
第5回	医療事故防止と危機管理②（患者とのトラブル事例）
第6回	医療事故防止と危機管理③（説明と同意の重要性）
第7回	医療事故防止と危機管理④（医師との連携の必要性）
第8回	施術所内の物理療法機器取り扱いと環境整備
第9回	臨床実習総括